

## 研究教育業績（過去5年間）

### I. 研究業績

#### 1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) Lin C-H, Funayama S, Peng S-F, Kuo C-L, Chung J-G (2018) The ethanol extraction of prepared *Psoralea corylifolia* induces apoptosis and autophagy and alters genes expression assayed by cDNA microarray in human prostate cancer PC-3 cells. *Environmental Toxicology*. 1-19.
- 2) Lin C-H, Chan H-S, Tsay H-S, Funayama S, Kuo C-L, and Chung J-G (2017) Ethyl acetate fraction from methanol extraction of *Vitis thunbergii* var. *taiwaniana* induced G<sub>0</sub>/G<sub>1</sub> phase arrest *via* inhibition of cyclins D and E and induction of apoptosis through caspase-dependent and -independent pathways in human prostate carcinoma DU145 cells. *Environmental Toxicology*. 1-11.
- 3) Tanaka N, Takizawa T, Miyamoto N, Funayama S, Tanaka R, Okano S, Iwasaki T (2017) *Vet. Rec.*, **4**(1): published online (Sept. 26, 2017).
- 4) 船山信次 (2017) 正倉院薬物「雄黄」と鳩毒との関係について-その形状は鳩の卵の暗示か?. 日本薬科大学研究教育紀要. III : 1-6.

[総説]

- 1) 船山信次 (2017) わが国に見られる植物に由来する神経毒. *Clinical Neuroscience*. **35**(12): 1432-1439
- 2) 船山信次 (2017) 蛇蝎 (だかつ) や毒草をも薬と成す-薬毒同源. 化学と教育. **65**(5): 220-223
- 3) 船山信次 (2016) アサと麻と大麻-有用植物から危険ドラッグまで. ファルマシア. **52**(9): 827-831
- 4) 船山信次 (2016) 毒とは何か-生物毒と人間, *milsil* (ミルシル) / 国立科学博物館. **9**(4): 6-7
- 5) 船山信次 (2014) アジサイ. 中毒研究. **27**(1): 26-27
- 6) 船山信次 (2014) キダチタバコ. 中毒研究. **27**(1): 24-25
- 7) 船山信次 (2013) 毒と薬と人間-人類と毒・薬との出会い. 斯文. 第123号 (2013年9月): 43-64  
他1件

[著書]

- 1) 船山信次 (2018, 分担執筆) スパイス百科 (丁宗鐵編著), pp. 175-182, 丸善出版, 東京
- 2) 船山信次 (2017, 単著) 毒と薬の文化史, 慶應義塾大学出版会, 東京
- 3) 船山信次 (2017, 単著/ハングル語版) 毒と薬の世界史, AK Trivia Book, South Korea
- 4) 船山信次 (2017, 監修) 毒を持つ生き物たち, PHP, 東京
- 5) 船山信次 (2016, 単著) 毒! 生と死を惑乱, さくら舎, 東京
- 6) 船山信次 (2015, 監修) カラー図鑑 謎の植物, 宝島社 (2015年12月), 東京
- 7) 船山信次 (2015, 単著)
- 7) 民間薬の科学, ソフトバンク社サイエンス・アイ新書, 東京
- 8) 船山信次 (2015, 単著) 毒があるのになぜ食べられるのか, PHP研究所, 東京

- 9) S. Funayama & G. A. Cordell (2014, 共著) ALKALOIDS – A TREASURY OF POISONS AND MEDICINES, Elsevier, USA
- 10) 船山信次 (2014, 分担執筆) 科学の宝箱 (TBSラジオ編), カゼ薬とお酒, なぜ一緒に飲んでではダメなの? 毒にも薬にもなる話, 講談社, 東京
- 11) 船山信次 (2014, 単著) 有機化合物〈超〉入門, 技術評論社, 東京
- 12) 船山信次 (2014, 単著/中国語版) 認識毒草薬草事典, 晨星出版, 台湾
- 13) 船山信次 (2013, 単著) 毒の科学-毒と人間のかかわり, ナツメ社, 東京
- [その他]
- 1) 船山信次 (2018) 木村孟淳記念漢方資料館. 都薬雑誌, **40**(3), 29-32
- 2) 船山信次 (2017) 植物の毒. *F i e l d e r*, 35, 54-59 頁
- 3) 船山信次 (2017) 専門家はメディアの求めに対してどう答えるべきか. 日本サイエンスコミュニケーション誌, 7(1), 18-21
- 4) 船山信次 (2017) あなたの身近にひそむ「毒」. *PHP からだスマイル*, 54~59 頁, 2017 年 1 月号
- 5) 船山信次 (2016) 薬草・毒草と人間. 日本薬用植物友の会会報第 120 号: 9~16 頁
- 6) 船山信次 (2015) 我が毒学人生. 仙台一高同窓會々報, 第 63 号: 26-50 頁
- 他 17 件

## 2. 主な学会発表

[国内学会]

- 1) 木村孟淳, 船山信次, 磯田道文 (2017) 長井長義の父長井琳章所有の「本草綱目」. 日本薬史学会 2017 年会 (埼玉)
- 2) 船山信次 (2017) 毒と薬と食物-薬毒同源. 第 28 回日本微量元素学会学術集会特別講演 (仙台)
- 3) 船山信次 (2015) 正倉院「雄黄」と鳩毒との関係—正倉院「雄黄」は鳩の卵である. 日本薬学会第 135 年会 (神戸) —講演ハイライトに選出された—
- 4) 澤田果歩, 福田枝里子, 馬場正樹, 船山信次, 岡田嘉仁 (2015) *Lycoris* 属植物の生物活性に関する研究 (第 2 報). 日本薬学会第 135 年会 (神戸)
- 5) 川井龍美, 飯塚晃, 新木敏正, 奈佐吉久, 船山信次, 中村和男, 伏谷眞二, 北村繁幸, 小林賢, 齋藤俊昭, 喜多代晋, 新井一郎, 西川由浩, 稲瀬實 (2015) 薬学教育における学習意欲とコミュニケーション能力の醸成のための PBL 型実習の実施とその評価. 日本薬学会第 135 年会 (神戸)
- 6) 船山信次 (2014) 華岡青洲の麻沸散 (通仙散) に使用されたたとされる曼陀羅華に関する一考察. 日本薬学会第 134 年会 (熊本)
- 7) 安田高明, 山本愛子, 高野文英, 伏谷眞二, 船山信次, 高柳覚, 中野裕子, 高橋知也 (2014) 「ソリザヤノキ *Oroxylum indicum* に含まれるヒアルロン酸産生促進物質」 (2014) 日本薬学会第 134 年会 (熊本)

## 3. その他特筆すべき研究業績

- 1) 日本薬史学会常任理事 2017 年 4 月~
- 2) 日本薬史学会 2017 年会 (埼玉) 年会長 2017 年 10 月 28 日開催
- 3) 日本薬史学会評議員 2015 年 4 月~2017 年 3 月
- 4) *Pharmaceutical Biology* (USA) 副編集長 (2013 年 4 月~2016 年 3 月)

## II. 教育業績

### 1. 担当授業科目

2017年度

- ・天然物化学（2年生）
- ・漢方生薬化学（4年生）
- ・有機化学実習（2年生）
- ・薬学総合演習（4・5・6年生）6コマ
- ・早期体験学習（1年生）5コマ
- ・卒業研究（5・6年生）

2016年度

- ・天然物化学（2年生）
- ・漢方生薬化学（4年生）
- ・薬学総合演習（4・5・6年生）5コマ
- ・早期体験学習（1年生）5コマ
- ・卒業研究（5・6年生）

2015年度

- ・毒物の科学（4年生）
- ・生活の化学（1年生）
- ・漢方生薬化学（4年生）
- ・薬学総合演習（4・5・6年生）5コマ
- ・早期体験学習（1年生）5コマ
- ・卒業研究（5・6年生）

2014年度

- ・天然物化学（2年生）
- ・毒物の科学（4年生）
- ・ヒューマニズムⅡ（2年生）2コマ
- ・薬学総合演習（4・5・6年生）5コマ
- ・早期体験学習（1年生）5コマ
- ・卒業研究（5・6年生）

2013年度

- ・天然物化学（2年生）
- ・ヒューマニズムⅡ（2年生）2コマ
- ・薬学総合演習（4・5・6年生）5コマ
- ・早期体験学習（1年生）5コマ
- ・卒業研究（5・6年生）

### 2. その他特筆すべき教育業績

- ・テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・講演会等において、毒や薬の一般的知識についての普及活動多数